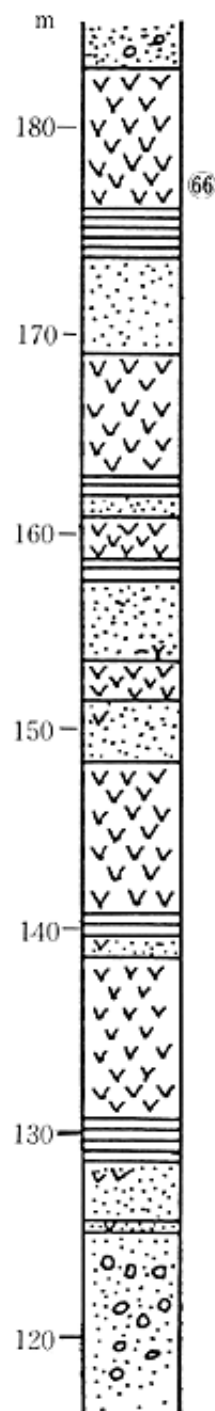


キツタ属 *Hedera* sp.

▲発見場所
垂水区名谷町
の柱状図



▲大きい角度で主脈が3つに分かれ
葉の先は鋭くとがる (キツタ属)

キツタ属

葉は、浅く3つに裂け基部はややハート形である。全縁だが裂片の先はややとがっている。

白川累層上部の特定の凝灰岩層より、多数産出している。この層には、キツタの他にマツの化石なども多数産出し、ともに密集した状態で出てくる。曲がりくねったり、重なった状態のものが多く、葉が変形せずに残っているものは少ない。

現生のキツタ属は、常緑のつる性の木本で他の木などによしのぼる性質がある。アジア、ヨーロッパ、北アフリカに数種が分布し、日本にはキツタ1種だけ分布する。

(ウコギ科 キツタ属 *Hedera* L.)